### parsecsv

CSV（カンマ区切り値）またはTSV（タブ区切り値）文字列をパースします。

#### 構文

parsecsv [field=TARGET\_FIELD] [overlay=BOOL] [strict=BOOL] [tab=BOOL] [FIELD, ...]

オプションパラメータ

**field=TARGET\_FIELD**

パース対象の値が格納されているフィールド名（デフォルト: line）

**overlay=BOOL**

入力レコードの元フィールドを出力するかどうか（デフォルト: f）

1. t: 入力レコードにパース結果を上書きしたデータを出力
2. f: パースされたデータのみをフィールドに出力

**strict=BOOL**

RFC4180（<https://tools.ietf.org/html/rfc4180>）準拠オプション（デフォルト: f）

1. t: Microsoft Excelと同様にRFC4180に準拠（<https://tools.ietf.org/html/rfc4180>）。このオプションはtab=tと同時に使用できません。
2. f: CSVファイルを柔軟にパース

**tab=BOOL**

タブ文字を区切り文字として使用するかどうか（デフォルト: f）

1. t: タブ文字を区切り文字として使用
2. f: カンマ（,）を区切り文字として使用

対象オブジェクト

**FIELD, ...**

パース後のフィールド名リスト。カンマ（,）で区切って指定します。フィールド名を指定しない場合は、順にcolumn0、column1、...、columnNのように自動付与されます。

#### 使用例

カンマ区切りテキストのパース

json "{line: '\"foo\",\"bar\"'}" | parsecsv

カンマ区切りテキストをパースし、先頭から順にname1、name2というフィールド名を付与

json "{line: '\"foo\",\"bar\"'}" | parsecsv name1, name2